

子どもが絵を描く中で何が起きているのか —描画過程を読み解く—

2018. 12. 11 (火) 16:10 - 18:10

要・事前申し込み

東京学芸大学 芸術・スポーツ科学棟4号館2F 美術教育演習室

子どもが絵を描き、造形的に何かを形づくるとき、子どもの中では一体何が起きているのでしょうか。子どもが、もの、環境に関わる活動の過程を身体やイメージ等の様々な角度から研究してきた栗山誠先生を講師に迎え、どのように子どもの表現活動を捉え、その意味を理解していけばよいのかを考えます。

16:10 開会の挨拶

鉄矢 悦朗 東京学芸大学 教授／デザイン教育
特定非営利活動法人 東京学芸大こども未来研究所 理事長

講演 「子どもが絵を描く中で何が起きているのか—描画過程を読み解く—」

栗山 誠 関西学院大学 教育学部 教授

大阪市立幼稚園講師、創造的居場所アトリエ Kids Art 主宰を経て現在は関西学院大学教育学部教授。現場の視点から子どもの造形を研究している。2015年 博士(学術/大阪市立大学)学位を取得。主な著者「描画を楽しむ教材と実践の工夫」(明治図書)、「保育内容表現」(みらい)、「図式的表現期における子どもの画面構成プロセスの研究」(風間書房)など。

17:30 トークセッション

栗山 誠
鉄矢 悦朗・真木 千壽子 学芸の森保育園 園長
笠原 広一 東京学芸大学 准教授／美術科教育

18:10 終了

■助成：公益財団法人日本生命財団 平成29年度委託研究

課題名「幼児教育における子どものアート活動を媒介とした多様性の涵養と親の学習支援プログラムの構築」

■主催・申し込み先：東京学芸大学 (美術科教育学分野) 笠原広一研究室 [kasahara\(a\)u-gakugei.ac.jp](mailto:kasahara(a)u-gakugei.ac.jp)

※(a)をアットマークに変えてください。申し込み受付後に会場案内を送ります。

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 Tel & Fax: 042-329-7610